



家族に被害の現状を伝えよう!

～「自分でできる防犯対策」を勧めよう～



平成30年中

「高齢者からキャッシュカードをだまし取るサギ等」が多発!

- 被害の概要 (キャッシュカードをすり替えて盗む窃盗手口を含む・暫定値)
 - ・認知件数 257件 (前年比-68件)
 - ・被害金額 約5億7,610万円 (前年比-約2億1,317万円)
 - ・1件当たりの被害額 224万円
- 被害者の属性
 - ・65歳以上の高齢者 212人 (被害者257人中)
うち女性170人、男性42人
- 被害金の交付形態

・特殊詐欺	236件、約5億3,826万円
┌ キャッシュカードの手渡し	128件、約2億2,261万円
├ 現金の手渡し	50件、約2億386万円
├ 電子マネー利用	26件、約1,788万円
├ 現金振り込み	17件、約2,264万円
└ その他	15件、約7,127万円
・キャッシュカードすり替え型の窃盗	21件、約3,784万円
- 犯人から被害者への第一接触手段
 - ・自宅の固定電話 207件
 - ・携帯電話 38件
 - ・はがき、封書 5件
 - ・その他 7件



家族の絆を強めて大切な家族を守ろう!

ご家族の被害を防止するために、あなたから家族へ被害の現状を伝えるとともに、被害防止に有効な防犯機能付き電話機の設置、番号表示・非通知番号拒否サービスの利用、一日当たりのキャッシュカードの引き出し限度額引き下げなどの「自分でできる防犯対策」を勧めてあげましょう!

